

うみなり



令和3年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより



令和4年3月25日(金)発行 第27号 文責 藤川 俊彦

「カッコイ先輩になろう!」進級にあたって! ~3月25日(金)修了式を行いました!!~

本日の修了式で以下のようなお話をしました。

「今日は令和3年度の最後の日となる『修了式』です。1年間の学業を修めた事をみんなで喜び合う日でもあります。1年間の様々な勉強をやり遂げたみなさん、おめでとうございます。そして、みなさんは新年度、新2・3年生となります。それぞれ最高学年や中堅学年となり、新入生である後輩も入学してきます。みなさんには、『年齢が1個や2個上だから先輩』と呼ばれるのではなく、『やっぱり〇〇先輩はすごいなあ!カッコイ先輩!』と心の底から後輩に慕(した)われる先輩になってほしいと思っています。後輩に慕われるカッコイ先輩になるために必要なことを三つお話しします。

まずは、『何事も一生懸命やる』何かをできる・できないではなく、精一杯取り組んでみる。その姿が後輩に感動を与えます。中途半端にカッコつけてやらないことほどカッコ悪いものはありません。

できてもできなくても、一生懸命自分なりに精一杯取り組んだ先に見えるものがあるはずです。



二つ目、『ありがとうという心』ありがとうの対義語は当たり前です。私たちがこの世に生まれたこと、今生きていることは全て当たり前ではなく、ありがたいことなのです。そう思うと、毎日の出来事や体験、出会いが素晴らしいものだと分かるでしょう。ちょっとしたことにも感謝し、ありがとうと自然に言える人は後輩に慕われると思います。

最後、『勉強する人』これは、テストの点数をたくさん取れる人ではありません。自分から勉強する人のことです。私の経験上、たくさん勉強する人は自分にも他の人にも優しいです。それは、色々なことを勉強することで自分の視野が広がり、自分だけでなく、他の人にも寄り添って考えることができるからだと思います。そして、勉強を頑張っていて優しい人は、もちろん必ず後輩に慕われます。

以上、『何事も一生懸命やる』『ありがとうの心』『勉強する人』この三つを頑張り、カッコイ先輩になってください。皆さんならできるはずです。」



安田泰輔 先生

短い間でしたが、大変お世話になりました。保護者の皆様、地域の方々の温かい励ましをいただきながら、そして何より一中学生の笑顔にたくさんの元気をもらいながら、充実した時間を過ごすことができました。3年間、本当にありがとうございました。



小宮山恵美子 先生

皆さんと過ごした楽しい時間は、あっという間でした。今後の成長を傍で見られないのは残念ですが、これから多くの人と出会い、様々な経験をして『自分』というものを作ってほしいと思います。しっかりと『人の道』を生き抜いてください。応援しています。



瀬川圭祐 さん

一日ずつ大人へと成長していく皆さんの姿を、間近で見られたことはとても幸せでした。また、温かい保護者の皆様や地域の方々、素敵な先生方に支えられ、私自身も成長できた3年間でお世話になりました。



行事予定



- 4月 6日(水) 新任式・入学式準備
- 4月 7日(木) 入学式・始業式
- 4月 8日(金) ②学校生活オリエンテーション⑤⑥交通安全教室
- 4月11日(月) ①②知能検査(1,3年) ③④身体検査⑤⑥避難訓練
- 4月12日(火) NRT検査(全校)、委員会組織会(放課後)
- 4月13日(水) 職員会議(短縮授業、部休日)
- 4月15日(金) 部活動組織会(放課後)
- 4月18日(月) 委員会活動日
- 4月19日(火) 全校朝会(ジャージ登校の日) 家庭確認~22日 全国学力学習調査(3年生)
- 4月20日(水) 村学カテスト(全校)(短縮授業、部休日)
- 4月21日(木) FT:フィードバックタイム(短縮授業、部休日)
- 4月22日(金) 第1回参観日・PTA総会(部休日)
- 4月25日(月) ⑥前期生徒総会
- 4月26日(火) 生徒朝会(ジャージ登校の日)
- 4月27日(水) 学校評議員会議(授業参観あり)眼科検診(短縮授業、部休日)
- 4月28日(木) ⑥運動会オリ、FT(短縮授業、部休日)

※全ての行事は、今後の校内や地域・県内の新型コロナウイルス感染状況によっては、延期や中止もあります。



つぶやき



私にとっては、あっという間の一中での1年間でした。新米校長として、分からない事だらけでスタートしましたが、一中の先生、保護者、地域の方々、村教育委員会や村相談室、村内校長先生方に助けられて何とか無事一年を終えることができました。本当に感謝ばかりです。



今年度も新型コロナウイルスに振り回され、各種行事や大会など延期や中止が相次ぎました。そんな中でも、生徒・先生方は下を向かず、今できる事は何か?を常に考え、部活動や新人大会は思うように実施できませんでしたが、運動会、文化祭、修学旅行や各種体験学習は実施する事ができ、学校内でクラスターが発生する事ありませんでした。また、入学式や参観日、運動会や一中祭、卒業式など、保護者の皆様には人数制限やリモートでの参加、生歌でなくCD・DVDでの披露など、本来の姿でない形になりました事にお詫び申し上げますと共に、来年度は感染状況を的確にとらえ、状況に応じた制限をしながらも、保護者の方々が直接参加できるような方法を考えていきたいと考えております。

なお、来年度(令和4年度)の学校経営のビジョンと補足説明(PTA役員に配布したもの)を裏面に載せておきました。ご一読願えれば幸いに存じます。新年度第1回目の参観日全体会で詳細を説明させていただきます。

今年度の学校だより「うみなり」は今回で終了になります。ご愛読ありがとうございました。

感謝



〈六ヶ所村教育委員会 学校教育の方針〉

夢や志の実現に向け、自校の教育課題を的確に把握し、学校運営に創意工夫をこらし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育む学校教育の充実に努める。

〈学校教育目標〉

自分の将来と、郷土の未来を創造できる生徒

学：学び合う生徒 心：支え合う生徒 体：鍛え合う生徒

〈目指す学校像〉

- ◎生徒が通いたくなる学校 (明楽・挨拶・交流)
- ◎保護者が通わせたい学校 (信頼・共育・共有)
- ◎教職員が勤めたい学校 (協働・研鑽・時短)
- ◎地域が誇りとしたくなる学校 (公開・連携・受信)

令和4年度のキーワード

- 温かく厳しい学校
- 一人ひとりを大切にできる学校
- 小学生のあこがれる学校

〈学びの方向性〉

(知)
「様々なものをつなげる」

(心)
「お互いに高め合う」

(体)
「生活・姿勢を整える」

学校教育目標の具現化及び目指す学校像・学びの方向性の実現に向けて、全教職員が同じ方向を向き、「**師弟同行**」「**率先垂範**」の精神で、学校に関わる全ての方とのコミュニケーションを大切にしながら、生徒の現在及び将来における自己実現を図っていくために、今年度以下の事に取り組みます。

- 取組1 学校教育活動の全てを教科やSDGsとつなげます**
- ①教科(特別の教科道徳を含む)と行事・総合的な学習・学級活動をつなげます
 - ②生徒会活動と教科・SDGsをつなげます
 - ③様々な**交流・体験場面**を設定し、言語能力を含めた思考力・判断力・表現力を高めます
- 取組2 生徒や先生方の生活リズムを整えるため、学校行事及び三者面談(定期的な家庭訪問を含む)等を原則平日の勤務時間内に組み入れます**
- ①運動会、一中祭(周年行事含む)を**金曜日に開催**します
 - ②上北地方中学校体育大会の**3日目を交換休**に(選手、引率は別)します
 - ③三者面談を**勤務時間内で実施**(約1ヶ月前に案内を送付)します
- 取組3 平日の部活動を原則月、火、木の3日間とし、水曜日と金曜日は部休日とします**
- ①毎週水曜日を短縮授業とし、教職員の会議日及び事務処理日とします。
 - ②毎週金曜日(金曜日休みの日はその前の日)を短縮授業とし、子ども達の学習等に関する時間(FT:フィードバック・タイム)とし、**その週に学習で理解できなかったことや悩み事を聞く・相談する時間**に充てます。**※FTとは、その週で分からなかった事や悩み事はできるだけその週で解決する(解決の糸口を見つける)時間**
 - ③部活動に関して、短日数短時間でも、科学的・効果的な練習方法を**生徒と一緒に考え**ます。
- 取組4 「家庭学習」のありかたや「一中の約束事」の検討を生徒・保護者・教員で行い、持続可能で子どもが明るく楽しく、主体的に活動し学べるような体制を構築します。**
- ①家庭学習のありかたに関して、生徒・保護者の意見を聞きながら、検討・改善します
 - ②一中生の約束を生徒・保護者の意見を聞きながら、検討・改善します
 - ③家庭生活と学校生活を連携させ、生活リズムを整える支援をします

※上記の取組は1学期間実施し、夏季休業中に教職員で評価・検討し、2学期以降変更する場合があります。

《ビジョンの補足説明》

3月9日(水)18:30に行われたPTA役員会で、令和4年度の学校経営ビジョンを提示した所、以下のようなご質問を頂きました。当日私は、ワクチン接種の副反応(発熱)があり、参加できませんでしたので、この場をお借りしてお答えいたします。
なお、その他のご質問も随時受け付けておりますので、校長室直通メールへお寄せいただければ幸いです。

質問1 目指す学校像の「◎保護者が通わせたい学校」の「共育」とはどういう意味か?

お答え 共に育てるという意味での「共育」ですが、子どもを育てるのに、ご家庭だけでなく、学校や地域が関わることも大変大事だと思っており、教育=共育 だと考えこのような言葉を使用しました。

質問2 目指す学校像の「◎地域が誇りとしたくなる学校」の「受信」とは何を指しているのか?

お答え 新型コロナウイルス禍の現在、地域への発信は「学校HP」に限られており、地域での子ども達の様子を聞く機会は、年2回の学校評議員会議(4名の評議員と管理職との会合)のみとなっております。学校では発信の他、「受信」にも力を入れ、HPから校長室直通メールで様々な方から学校(生徒)へのご意見を受信し、学校運営に生かしていきたいと思っております。なお、令和3年度全体に関わるご意見として「ねむのき公園の使い方」と「スクールバスでのマスク着用」の2件のご意見を頂いたことをご報告いたします。

質問3 令和4年度のキーワードに「○温かく厳しい」とあるが、厳しくなくても良いのではないか?

お答え 子どもを育てる際に常にバランスが大事だと思っております。昔から、「優しく甘えさせて育った子は、だらしのない若者になり、厳しく躱けて育った子は人の目を伺う若者になる。そして、いわゆる非行少年少女と言われる子ども達のほとんどは、優しさだけで育てたか、厳しさだけで育てたかの両極端である。」と言われております。
学校も温かさ(優しさ)を前面に出しながら、厳しく注意する場面も時には必要になります。教職員が生徒に阿(おもね)るのではなく、時には勇気をもって厳しく示す必要もあります。ただし、体罰は絶対に行いません。

質問4 行事の平日開催では、参加できない保護者の方もいるのでは?

お答え 行事の平日開催は、上北管内の中学校はまだ少数ですが、県外の中学校は数年前から平日開催が主流になっています。
平日に行事や三者面談を行う理由は大きく2つあります。
①1週間のリズムである「月～金は学校、土日は休む」のリズムを整えるため。
②働き方改革の一環として。
1日の生活リズムが崩れている生徒が年々多くなっている気がします。それに伴い、1週間のリズムが崩れている生徒も散見されます。学校で学ぶ日と家でリラックスする日をリズムよく過ごすことが大切だと思っております。
また、長時間労働や会社(働く事)中心の家庭生活により、自分自身や家族への影響があり、働き方改革の必要性はみなさんもお存じのとおりです。子どもの行事への参加や面談のために気軽にお休みを取ることが、働き方やSDGsにつながり、ひいては持続可能な社会へつながるのではと思っております。
学校の先生方にはいつも「仕事(学校)中心の生活から、家族(自己啓発)中心の生活に変化できないと、時代から取り残されますよ!」と話しています。